



こころのげんき株式会社
所在地 岐阜市福光東3-3-12
TEL/FAX 058-295-6703

スタッフは、精神分析のトレーニングと病院臨床経験があることが採用の必須条件となっています。また、堀さんは県内唯一の精神分析的心理療法師士の資格保持者で、精神医学に関しての研修を受けています。

専門性を高め続けることで、同業者や病院だけでなく患者の口コミで利用者を増やしてきました。そして、開業から12年経った2016年には利用件数が年間1700件を超え、非常勤スタッフを常時3〜4名抱えるようになり、規模を拡大していきました。

訪れた転機、未来を見据えた決断

利用者に寄り添ったサービスを行うカウンセリングは、長く続けることが大切です。しかし、個人事業主の場合は、経営者個人の病気や加齢など様々な理由で廃業に至ることがあります。順調に利用者数を増やす中、堀さんに病が見つかりました。

病気によって堀さんは年間休職し、一時期は経営が危うい時期もあったといいます。

「自分が頑張ればいいというそれまでの個人事業主としてのやり方では、サービスを長く維持していくのは困難だと痛感しました」

『ながら心理相談室』でしかない心の支援、それを「岐阜市にとっての資源」と堀さんは考えます。

「培ってきた専門的サービスと地域からの信頼を、引き継いで行ける形を作りたい。事業承継を円滑に行うために法人化して経営基盤を安定させることが必要でした」

こうして、2019年に『こころのげんき(株)』



こころのげんき株式会社 代表取締役 堀 恵子 さん

心の専門家 臨床心理士

「心が病気になった時、病院は薬を出してくれます。中にはカウンセリングをしてくださるところもありますね。でも、寄り添って問題の根本原因を一緒に見つけることは、保険治療では難しいことなんですよ」そう話すのは『ながら心理相談室』を運営する、こころのげんき(株)代表で臨床心理士の堀 恵子さん。臨床心理学は、心に問題を抱える人に寄り添い助けるための学問です。それを使いカウンセリングを行う臨床心理士は心の専門家と言えます。

自分や家族が受けた心理療法の提供

「病気の人がくると思われがちですが、心のトラブルは様々な場所に隠れています」堀さんのもとは、仕事の悩みを抱えた人、夫婦間の問題でカウンセリングを受ける人など、様々な人が訪れます。この頃は薬では改善しない病態が増加していて、虐待と関わる事例や生きづらさを抱えている人、不安を埋める手段としての依存も増加傾向にあるそうです。

『ながら心理相談室』で提供するサービスについて、

「その方の育ちや生き方、人との関係の持ち方など、人間理解に基づいた全人的な心理療法を行います。自分や家族が受けたと思う心理療法を私たちは追及し続けています。」

堀さんは胸を張って語ります。

ここでは個人向けのカウンセリングの他、法

は設立されたのです。

それは、未来を見据えての決断でした。

新しい取り組み「こころあプロジェクト」

堀さんが、特に問題視しているのは「子どもの心のトラブル」です。

不登校、いじめ、発達障害、ストレスによる症状、そして虐待。子どもの心に関する問題は多くあります。その多くが、子どもの成長を見守り長い支援を行っていくことがとても重要になります。「子ども向けの良質なカウンセリングサービスを、安価に利用してもらえる環境を作りたい」という思いで始まったのが、岐阜大学教育学部准教授の松本拓真氏と連携した「こころあプロジェクト」です。

- こころあプロジェクトは、
- ・子どものこころの専門家の育成
 - ・ネットワークの構築
 - ・拠点となるセンター設立
- を取組の柱としています。
- 「専門家をまずは育て、地域と連携しながらサービスの輪を広げていけたらと考えています」

カウンセリングサービスへの需要は、社会の大きな変容によってこれからますます増えていくことでしょう。

「直接的なコミュニケーションや関わりを敬遠する時代になったと感じています。そして、新型コロナウイルスがそれを加速させました」

堀さんは、そんな時代にこころがどうなっていくかは未知数だと話します。

人向けのEAP事業(従業員支援プログラム)として、企業の事業場外相談窓口としての役割も担っています。

一例として復職に関する相談が増えており、病院では復職可言われた相談者に寄り添い、会社側にも対応方法を指導し、円滑な職場復帰をサポートしています。

開業までの経緯

堀さんは、開業以前は10年ほど精神科や子ども専門病院に勤務し、子どもの心へ寄り添うことに注力してきました。しかし、病院は保険治療になるため、出来る治療には限界があり、もどかしく思うことが多くなってきました。そこで1998年、「より専門性の高い「個」に特化したサービスを提供したい」と立ち上げたのが、『ながら心理相談室』です。

地域のトップランナー

カウンセリングサービスは、病院や行政、子どもであれば学校で受けることができ、いずれも保険適用の治療や無料で利用することができま。これに対し、『ながら心理相談室』は民間企業のため、治療費用は全額自己負担。カウンセリング料金は、病院の3倍ほど高くなることもあります。そこで、運営をしていくにあたつて、この分野において地域のトップランナーであることを心掛けてきたと堀さんは言います。

「提供するサービスに対して、裏付けとなる専門的な知識や実績を積み上げ、信頼を継続することが何よりも大変でした」

「今後どうなるかは全く分かりません。そんな中であつても、培ってきた知識と信頼を武器に、こころの専門家であり続けたいです」

『こころ』という目には見えない、誰もが持つ人間の核に、堀さんは今日も寄り添います。

